

# 7

## 基本方針 7

# 地域資源を活かした 交流の盛んなまちづくり

### 1 多様な資源を活かした観光交流の推進

---

- 1 観光交流人口の拡大を支える施設の充実
- 2 観光交流を生み出す仕掛けづくり

### 2 友好を深める交流活動の推進

---

- 1 広域的で多様な交流を生み出すしくみづくり

# 基本方針7 地域資源を活かした交流の盛んなまちづくり

## 1. 多様な資源を活かした観光交流の推進

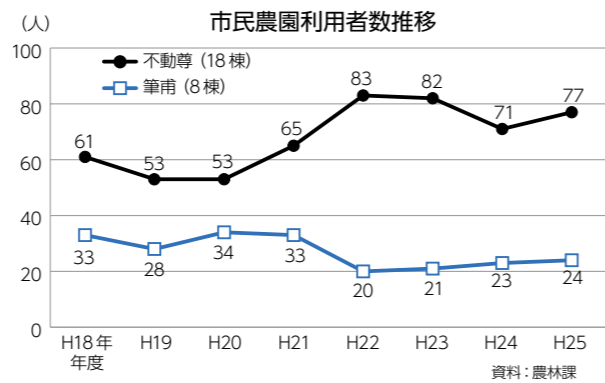
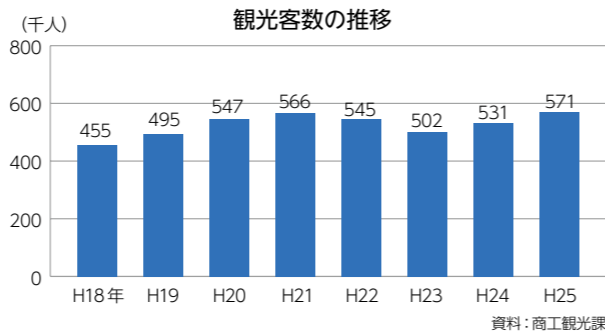
### 現状と課題

◆ 近年、ライフスタイルや価値観の変化にともなって、観光の形態やニーズが多様化しており、従来の「見る」観光に加え、地域固有の資源を生かした「体験・交流する」観光の需要が高まっています。

◆ 本町の主な観光資源は、「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」、「阿武隈ライン舟下り」などがあり、自然や歴史に触れることができるものが中心です。このほかに町では、「いきいき交流センター大内」、「八雄館」、「手しごと館」、「滞在型市民農園」といった観光・交流の拠点となる施設を整備し、丸森型グリーン・ツーリズムの推進に努めてきました。

◆ 平成25年から開催されている「サイクルフェスタ丸森」は、県内外からの参加者が集まり“丸森の自然と人との交流が楽しめる”と自転車愛好家から注目されているイベントの一つとなっています。

◆ 今後も、豊かな自然や歴史・文化が育んできた地域資源を生かし、交流人口の拡大と、それに伴う経済的な波及効果へ結びつけることが重要となってきます。また、観光産業だけでなく、様々な産業の人が関わり地域全体で観光客を受け入れていく仕組みづくりも必要です。



### 施策の基本方針

豊かな自然環境などの観光資源を活かすとともに、「国民宿舎あぶくま荘」や「蔵の郷土館齋理屋敷」等の既存施設の更なる魅力化を図り、広く国内外からシーズンを問わず観光客が訪れる仕掛けづくりを推進します。

### 施策体系

#### 多様な資源を活かした観光交流の推進

- 観光交流人口の拡大を支える施設の充実
- 観光交流を生み出す仕掛けづくり

施策に対する目標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
観光交流人口 (暦年)	571	650	700	千人

### 主要施策の概要

#### ① 観光交流人口の拡大を支える施設の充実

平成26年度策定の「丸森町交流人口70万人計画」に基づき、「国民宿舎あぶくま荘」や「蔵の郷土館齋理屋敷」、「不動尊公園キャンプ場」等の既存施設の再整備を行うほか、新たに施設を整備することも検討しながら交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
国民宿舎あぶくま荘利用者数(暦年)	65	67	87	千人
来遊者満足度 (施設整備、宣伝充実など)	73.9	80.0	85.0	%

#### 主要事業

- 国民宿舎あぶくま荘建替事業
- 不動尊公園キャンプ場内コテージ等整備事業
- 観光交流施設等民間活力導入推進事業
- 観光交流施設等整備事業

## ②観光交流を生み出す仕掛けづくり

インターネット等による情報発信の強化や、「齋理幻夜」、「サイクルフェスタ丸森」等のイベントをはじめ、丸森町の自然、歴史・文化等の豊かな地域資源を活かしたグリーン・ツーリズム\*の推進を図ることで交流人口の回復増加と地域活性化を目指します。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
各種ツアー参加者数	0	225	360	千人

主要事業

- グリーン・ツーリズム推進事業
- 丸森町観光物産支援事業
- 齋理屋敷イベント事業
- サイクルイベント実施事業



不動尊公園キャンプ場



サイクルフェスタ丸森



※グリーン・ツーリズム  
都市生活者が農村などに滞在して余暇をのんびり過ごすこと。  
または、そうした余暇の過ごし方を奨励することで地域振興を図ろうとする取組みのこと。

## 2. 友好を深める交流活動の推進

### 現状と課題

- ◆ 毎年、姉妹都市である「北海道北見市」及び「アメリカ合衆国ヘメット市」と教育・文化・スポーツ等の交流を行い、国内外を問わず相互の友好を深めています。
- ◆ 「丸森ファンネットワーク事業」は、会員（町外者）の方に対して定期的な会報による情報発信や特産品の提供を行っており、会員の方からは本町のまちづくりへの意見・提言をもらうという新たな視点での友好を深める交流施策を行っております。

### 施策の基本方針

姉妹都市交流を始めとする教育・文化・スポーツ等、多くの人との交流により活力のある地域づくりを進めます。

また、大学等との連携により地域の特色を活かしたフィールドワークを行ない、産学官等が連携した交流を推進します。

### 施策体系

友好を深める交流活動の推進

● 広域的で多様な交流を生み出すしくみづくり

施策に対する目標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
行事やイベント等の交流の場の充実に満足している町民の割合	21.0	25.0	30.0	%
交流活動を通じての元気な地域づくりに満足している町民の割合	15.3	30.0	40.0	%

① 広域的で多様な交流を生み出すしくみづくり

「姉妹都市交流事業」や「丸森ファンネットワーク事業」を通じて広域的で多様な交流により、地域づくりや人づくりを行い、交流による新たな視点を取り入れたまちづくりなどを推進していきます。

目標設定指標	平成25年度 (現況値)	平成31年度 (中間値)	平成36年度 (目標値)	単位
丸森町姉妹都市交流事業参加者数	42	50	50	人
丸森ファンネットワーク運営協議会会員数	72	80	80	人

主要  
事業

- 姉妹都市交流事業
  - 丸森ファンネットワーク事業
- 丸森まるごとフィールドワーク事業



姉妹都市交流事業 (行灯交流事業)



姉妹都市交流事業 (端野農産物産フェア)